

入間川中だより

狭山市立入間川中学校

令和5年度 11月1日号

狭山市鷺ノ木6-46

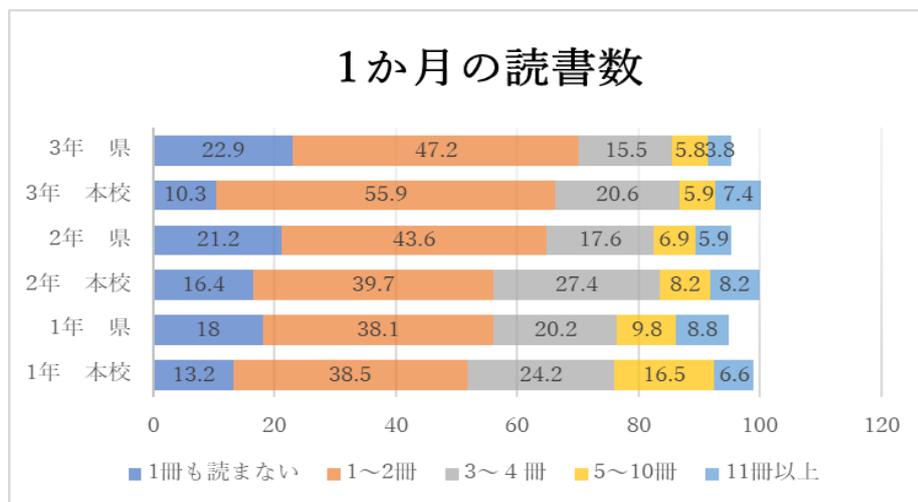
TEL 04-2953-3683 FAX 04-2953-3686

「読書の秋」

校長 鈴木 浩明

中国・唐時代の文人である韓愈（かんゆ）が残した詩の中に、「燈火（とうか）親しむべし」という一節があります。その意味は、「秋になると涼しさが気持ち良く感じられ、あかり（燈火）になじむようになる」。つまり、秋は読書に一番適した季節であるということ表現したこの言葉が、読書の秋の由来とされています。韓愈（かんゆ）は、自分の子供に本を読んで欲しいという思いからこの詩を残したとも言われています。テレビやゲームから離れ、家族で静かに本を読む時間をつくってみるのはいかがでしょうか

右のグラフは、1年生から3年生の1か月あたりの読書量を本校、県を比べたものです。全く読まない生徒がどの学年年にも10%程度います。一方で3冊以上読むという生徒の割合は県より高い結果です。読書に関しては、読書の習慣が身につけている生徒と身につけていない生徒との差があることがはっきりと表れています。本を



読むことによって、会うことが出来ない人々や出来事、様々な考え方に触れることができます。本の世界は、私たちの考えの土台を作ってくれます。読書は知識を与え、感覚を磨き、考える力を身に付けさせ、想像力を広げてくれます。また、読書をする事で落ち着いた心、静かに物事を考える心を身に付けることができます。長い時間、集中して活動することができるようになります。今回の県学力調査での本校の課題は、「聞いて理解する、読んで理解する。」です。来年度の県学力調査で課題が克服できるよう取り組んでまいります。今月から図書委員会による「読書の木」の取り組みがスタートします。この機会に読書の習慣を身に付けましょう。

市内駅伝大会 女子Aみごと2位でした

市内駅伝大会が10月14日（土）稲荷山公園で実施されました。入間川中学校駅伝部は男子Aチームが5位、Bチームが14位、女子Aチームが2位、Bチームが10位でした。

この成果は選手だけでなく、特設駅伝部全員の努力の結晶です。駅伝部員と一緒にみんなで走り、気持ちを支えあい、励まし合って練習をしました。『みんながいるから頑張れる』そんな思いが抱けるこの取り組みは本当に素晴らしいものだと感じています。当日は、選手をサポートするために一緒に走った仲間も参加しました。「学校が一つになっているな」と実感できるひと時でした。



女子A 1区 ●●●●● 2区 ●●●●● 3区 ●●●●●
4区 ●●●●● (区間賞) 5区 ●●●●●

